

いのち THEIR LIVES WERE TOO SHORT.

生命のメッセージ展

in 京都

入場
無料

支え合う 心が繋ぐ 支援の輪

平成29年度 犯罪被害者等支援スローガン

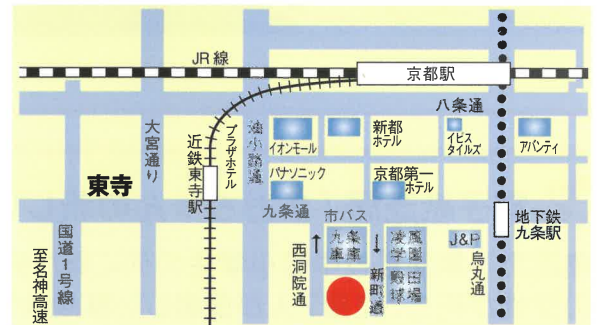
とき **11月26日(日)** ところ **京都テルサ** ●東館2階「セミナー室」

プログラム

東館2階 セミナー室

- 生命のメッセージ展：10:30～16:00
- 電子紙芝居くまおちゃんの新しい靴【上演時間】
11:30～ / 13:00～ / 14:00～

交通のご案内



- JR京都駅（八条口西口）より南へ徒歩約15分
- 近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
- 地下鉄九条駅4番出入口より西へ徒歩約5分
- バス九条車庫前より南へすぐ

お問い合わせ先

- 京都府安心・安全まちづくり推進課 TEL075-414-5076
- 京都市くらし安全推進課 TEL075-222-3193
- 京都府警察本部犯罪被害者支援室 TEL075-451-9111 (内線 2674)

～本でひろがる支援の輪プロジェクト～ 京都ホンデリング

不要となった書籍をご寄贈ください。会場内に集本用の箱をご用意しております。

このプロジェクトは、読み終わった本を寄贈いただき、その売却代金を犯罪被害に遭われた方々への支援活動に役立てるものです。



主催：京都府、京都市、京都府警察本部、特定非営利活動法人いのちのミュージアム、(公社)京都犯罪被害者支援センター、京都府犯罪被害者支援連絡協議会

後援：警察庁、文部科学省、法務省、国土交通省、京都新聞、NHK 京都放送局、KBS 京都

協賛：一般社団法人京都府トラック協会 協力：山陽学園大学

いのち THEIR LIVES WERE TOO SHORT.

生命のメッセージ展 in 京都

つながれ つながれ いのち

「生命(いのち)のメッセージ展」とは

殺人・悪質な交通事犯・いじめ・医療過誤・一気飲ませなどの結果、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。

「命の重さ、尊さ」を訴え、犯罪のない社会を創造し、未来の命を守ることを目的としています。

犠牲者の発する声なきメッセージを受け止めてください。



メッセージとは

犠牲者の等身大の人型パネルです。生前の写真とメッセージ文を添え、足元に遺品の「靴」(足跡=生きた証)を置いています。

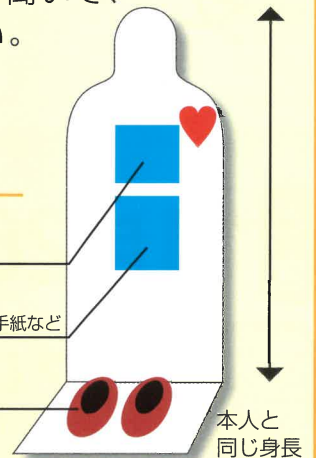
無念にも命を喪い、生きたくても生きられなかった犠牲者からの「未来につながる命」を守るためのメッセージを聞いて、感じてください。

メッセージ

本人の写真

名前・年齢・その人の紹介
家族が考えたメッセージ、手紙など

生前履いていた靴



本人と同じ身長

電子紙芝居「まおちゃんの新しい靴」

亀岡市で集団登校中の小学生の列に車が突っ込み、児童2人と保護者の女性が死亡、児童7人が負傷した事故は発生から5年を迎えました。

児童のご遺族が事故の悲惨さを訴える講演を続けておられますが、子どもが巻き込まれる事故はなくなりません。

そんななか、遺族の講演を聴いた岡山市の山陽学園大学の学生たちが、亀岡の事故をモチーフにした紙芝居を作り上演を始めました。



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギョットちゃん」

同時開催!

京都ヒューマンフェスタ 2017

テーマ：「認め合おう みんなの輝き 共生社会」

NPO法人等人権関係団体活動紹介(ステージ・展示)、人権擁護啓発ポスターコンクール表彰式・展示会、トークショー①: KONISHIKI 氏②: 佐野有美氏、それいけ! アンパンマンショー、映画「この世界の片隅に」上映会、NPO共同企画コーナー(絵本のひろば・民族衣装体験・フードコート・ボッチャ体験)、ユニバーサルデザイン体験コーナー、人権特設相談コーナー等